久留米大学 法学部同窓会会報

Kurume University
Law Alumni Association

2023

2023 年号

久留米大学 法学部同窓会会報

Kurume University Law Alumni Association

目次 …… 1

ご挨拶 …… 2
会長／法学部長

同窓会活動 …… 3
令和4年度 定期総会のご報告
令和3年度 活動報告 …… 4
令和3年度 決算／令和4年度 予算

学部支援 …… 5
職業と社会
絣フェスタ 2022 …… 7
あのく祭 …… 8

同窓生インタビュー …… 9
平成12年 法律学科卒 松嵜 正さん

久留米大学福岡支部 総会及び懇親会

大学近況 …… 10
地域交流拠点「つながるめ」オープン
両キャンパスのグラウンド整備
番外編 久留米近影 十三部交差点の改良実施、
中環状道路が開通しました！

大学通信 …… 11
就職状況
久留米大学募金 …… 12

学部支援 …… 13
設立35周年記念講演会
卒業生の抱負
2023年1月21日に朝見先生の
最終講義が行われました！ …… 14

同窓会通信
同窓会事務局より

［表紙の写真について］

久留米はもとより、筑後地区一円の人々に古くから親しまれている筑後川花火大会が3年ぶりに帰ってきた。新型コロナウイルス感染症の影響もあり開催時間は短縮されたものの、その分中身の濃い大会となった。久留米市の夏の夜空が花火で覆われる度に、観客から湧き上がる歓声は、再開を待ち望んだ人々の心境を表す何よりの証拠だろう。

［裏表紙の写真について］

かねてより進められていた御井キャンパスグラウンド（MII FIELD）の工事は、800号館側の半面が完成に至っている。水害の際の貯水機能を備えるこのグラウンドは、地域住民への貢献を果たすと共に、利用する学生達にとって汗と笑いと涙が染み込んだ思い出の地になるに違いない。

久留米大学法学部同窓会
会長
平 誠一

会報発行によせて

みなさんもご存じのとおり、新型コロナウイルスの世界的流行から3年余りがたちました。その間、あらゆるイベントが軒並み中止や延期、規模縮小に追い込まれました。このような中で、当同窓会も例外ではなく、さまざまな活動が制約され、過去3年、対面での定期総会及び懇親会の実施を見送ることとし、Web決議やオンライン開催といたしました。その他にも各種の同窓会活動を制限せざるを得ませんでした。このような状況にもかかわらず、みなさまから同窓会活動へのご理解・ご協力いただきまして、深く感謝申し上げます。

最近ではコロナ禍もだいぶ落ち着いてきており、いわゆる「水際作戦」が緩和され、日本へも外国人観光客が多数来日するなど、世の中は通常モードになりつつあります。このような流れから、日本経済も少しは活気を取り戻すことでしょう(ただ、昨今の物価高には頭を悩ませていますが・・・)。また、大学行事では3年ぶりに久留米大学の学園祭である「あのく祭」が開催されました。今後は、当同窓会も徐々に通常運転へ切り替えてまいります。その1つとして、令和5年度の定期総会は対面で開催することを決定いたしました。4年ぶりの対面での開催ですので、ぜひ、定期総会にご参加いただき、旧交を温められてはいかがでしょうか。みなさまのご参加をお待ちしております。

法学部長
吉弘 光男

学部長ご挨拶

法学部同窓会のみなさま、こんにちは。3年にも及ぶ新型コロナ感染症との闘いにも少し、ほんの少しではありますが、出口が見えてきたようにも感じる今日この頃です。お元気でお過ごしでしょうか。1期を終え、やっとお役御免になるだろうと思っておりましたが、図らずも2期目の学部長を仰せつかった吉弘です。

さて、2022年度の法学部は、やはりコロナ禍に巻き込まれていました。ただ、少しずつキャンパスライフが戻ってきております。教室の収容定員の50%という制限付きではありましたが、全面的な対面授業が復活しました。後期には、3年ぶりに対面での定期試験も実施できました。初めての定期試験ということで学生さんには若干の戸惑いもあったようですが、オンラインでのテストや授業期間中のテストに比べて日程的に余裕ができたという声も聞かれました。本来の大学の姿が戻ってきたように感じています。2021年度の卒業式、2022年度の入学式は、学部単位ではありましたが対面で実施できました。同窓会長には温かいお言葉をいただき感謝しております。

そうはいっても、多くの学生さんが参加する行事、新入生のオリエンテーション行事や法学部パーティーは実施できませんでした。今の学生さんは学生間、学生と教員間の交流行事を経験したことがないわけで、今年度こそはと思っています。卒業生のみなさんは1年次の思い出だけで卒業することになり、申し訳ない気持ちを拭いきれません。そんな中でも、「あのく祭」の復活はうれしいニュースでした。規模はコロナ禍以前には及びませんが、学生さんたちの笑顔を見ることができました。また、恒例の法学部行事である「絣フェスタ」は今年もバージョンアップして盛大に開催されました。学生さんの一生懸命な姿ややり遂げたときの満面の笑みは最高でした。同窓会のご協力、ありがたく思っております。

昨年度の会報で最終講義の様子が紹介されていましたのでご存知の方も多いとは思いますが、この間、長年法学部の屋台骨を支えてくださっていた宗岡嗣郎先生、河内千栄子先生そして児玉昌己先生が定年をお迎えになられました。また、法科大学院や法学部で教育に尽力された朝見行弘先生も2023年3月ご定年で退職されました。他方、フレッシュな方がスタッフに加わってくださいました。髙木道子先生を准教授としてお迎えすることができました。また、今年の4月には新たに2名の方をお迎えします(いずれ会報で紹介されると思いますので、ここでは伏せておきます。お楽しみにお待ちください)。時間は流れるもので、法学部スタッフも変わっていくものだということを実感してます。

しかし、スタッフの入れ替えはあっても、学生と教員との距離が近いという久留米大学法学部の伝統はしっかり息づいております。同窓会のみなさまともこの伝統の中にあると思っております。この点、みなさまとは直接お顔を合わせることができず、非常に残念に思っております。今年こそは、今年度こそはと念じております。お会いできる日が来ることを楽しみにしております。そのときは笑顔で語り合いましょう。

私たちはこれからもこの良き伝統を守ります。ぜひ、同窓会からの温かい支援をお願いします。

令和４年度

定期総会のご報告

令和4年7月16日(土)に、御井キャンパス千歳会館(同窓会会館)にて令和4年度の定期総会を開催いたしました。また、今回の定期総会は、コロナ禍であることを考慮し、対面での開催を見送ることとし、オンライン形式にて行いました。

同窓生12名の出席を得て、木下博和氏(平成7年度卒)の司会により、藤竹智春氏(平成19年度卒)が議長を務めました。

上程された議案は、以下のとおり第1号議案から第5号議案までありましたが、すべて可決承認されております。

令和5年度の定期総会に関しましては、令和5年6月3日(土)に対面にて実施する予定にしております。その後、懇親会の開催を予定しています。ぜひ、ご参加いただき、昔ばなしに花を咲かせてください。

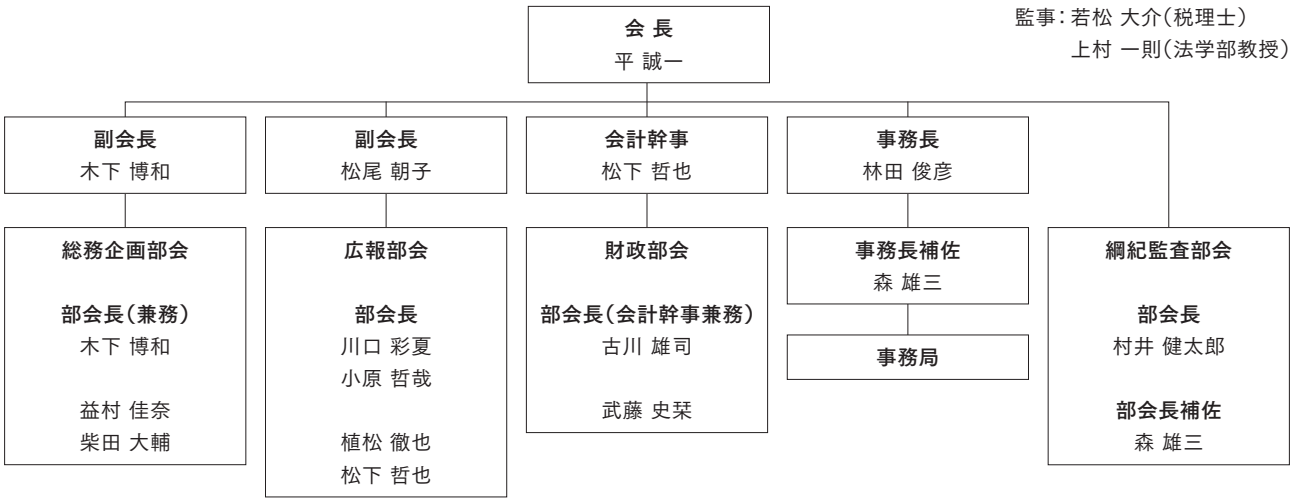
平 誠一(平成11年卒)

議　案

第1号議案　令和3年度事業報告について
第2号議案　令和3年度決算報告並びに監査報告について
第3号議案　令和4年度事業計画について
第4号議案　令和4年度予算について
第5号議案　役員の選出について

[令和4年度 法学部同窓会 組織図]

監事：若松 大介(税理士)
上村 一則(法学部教授)



令和4年12月10日現在

令和3年度 活動報告

令和3年

4月 8日	法学部入学式
9日	財政部会
10日	広報部会(第1回)
5月 13日	会計監査
7月 16日	7月度理事会
8月 20日	8月度理事会
9月 24日	9月度理事会
10月 10日	人間健康学部同窓会総会(WEB開催・来賓参加)
31日	法学部同窓会総会(WEB決議) ※総会があったとされる日
11月 9日	総務企画部会
13日	広報部会(第2回)
13日	11月度理事会
26日	総務企画部会
12月 4日	千歳会
5日	絆フェスタ2021
7日	総務企画部会

令和4年

1月 22日	執行部会
2月 6日	臨時執行部会(WEB開催)
27日	臨時執行部会
3月 5日	理事会(WEB開催)
19日	財政部会
23日	法学部卒業式

＊10月22日、12月17日、1月7日、1月14日「職業と社会」への支援

令和3年度 決算／令和4年度 予算

(単位:円)

支　出

款	項	令和4年度 予算	令和3年度 決算
事業費		7,210,000	2,963,283
	旅費・交通費	800,000	234,500
	会議費	280,000	7,066
	総会費	1,500,000	508,398
	渉外費	150,000	113,519
	印刷費	30,000	1,300
	会報費	2,600,000	1,816,680
	広報費	500,000	95,820
	支部対策費	200,000	0
	あのく祭援助費	200,000	0
	補助費	600,000	170,000
	事業対策費	250,000	0
	奨学費	100,000	16,000
事務費		2,665,000	3,475,260
	人件費	1,400,000	3,124,883
	福利厚生費	50,000	0
	事務局維持費	200,000	119,772
	通信運搬費	200,000	121,123
	消耗品費	100,000	9,564
	雑費	200,000	22,808
	備品費	500,000	71,280
	被服費	0	0
	支払手数料	15,000	5,830
積立金支出		5,000,000	3,000,000
	基本金支出	0	0
	事業積立金支出	5,000,000	3,000,000
予備費		127,474	0
小計		15,002,474	9,438,543
次年度繰越金		0	5,753,974
合計		15,002,474	15,192,517

収　入

款	項	令和4年度予算	令和3年度決算
会費収入		9,240,000	9,210,000
	入会金	9,240,000	9,210,000
	会費	0	0
利息収入		8,500	8,577
	預金利息	8,500	8,577
雑収入		0	0
	雑収入	0	0
未払金		0	0
	未払金	0	0
小計		9,248,500	9,218,577
事業積立金取崩		0	0
前年度繰越金		5,753,974	5,973,940
合計		15,002,474	15,192,517

職業と社会

久留米大学法学部同窓会では平成24年度より現役学生への支援の一つとして、法学部基礎専門科目である「職業と社会」(前田教授担当)の講義に同窓生を講師として派遣しております。この講義では、OBや様々な経験のある社会人を前田教授、神原教授、同窓会がそれぞれ招へいし、同窓会と法学部の協働事業として定着しております。法学部でも人気のある講義となっています。

講師の方には、なぜその職業を選んだのか、実際の仕事内容、仕事のやりがい、学生時代に何をやっておいたらよいかなどをお話しいただいています。日頃の授業とは違った雰囲気で先輩の生の声を聞くことが出来ることは、学生にとっても大変有意義で、様々な進路選択の可能性を広げる実りのある授業となるでしょう。

今後も多岐にわたる講師を推薦していきたいと思いますので、同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。

第1回(9/23)

左から 山川 勇之丈(ヒューマンクリエイション代表)
ヒューマンクリエイション

柴田 亮太(平成26年 国際政治学科卒)
株式会社風土テック

川口 翔(令和4年 法律学科卒)
大和リビング株式会社

第2回(9/30)

左から 粟田 桃花(令和2年 法律学科卒)
リクルート

田中 成直(平成30年 国際政治学科卒)
久留米広域消防本部

第3回(10/7)

左から 山本 照久(令和4年 国際政治学科卒)
日本赤十字社

吉田 大河(平成31年 法律学科卒)
京セラ株式会社

野田 龍馬(令和4年 法律学科卒)
鹿島市役所

第4回(10/14)

左から 芳賀 武仁(令和2年 国際政治学科卒)
久留米市立牟田山中学校教諭

川端 眞平(平成28年 国際政治学科卒)
サンファーマ

吉田 博文(平成12年 法律学科卒)
検察官

第5回(10/21)

左から 越地 竜太郎(令和2年 国際政治学科卒)
株式会社ネットワーク

松永 絹子(令和2年 国際政治学科卒)
イオン九州株式会社

北原 奨(令和2年 国際政治学科卒)
久留米信愛高等学校講師

第6回(10/28)

左から 岡村 涼香(令和3年 法律学科卒)
山鹿市役所

野口 明日香(平成29年 国際政治学科卒)
九州労働金庫

陶山 理紗(平成29年 国際政治学科卒)
株式会社三井住友銀行

第7回（11／4）

左から 柴田 大空（平成20年 法律学科卒）
株式会社インフィデックス

室園 星矢（平成31年 国際政治学科卒）
日本年金機構

星野 天（平成20年 法律学科卒）
弁護士

第8回（11／11）

左から 秋吉 里以子（平成31年 国際政治学科卒）
タレント

後藤 李音（平成31年 法律学科卒）
玉名市役所

髙田 真衣（平成26年 法律学科卒）
久留米第一法律事務所事務員

第9回（11／18）

左から 中嶋 理沙（平成28年 国際政治学科卒）
株式会社テレビ九州

前田 啓至（平成14年 法律学科卒）
司法書士

井上 莉穂（平成30年 国際政治学科卒）
株式会社福岡銀行

第10回（11／25）

左から 小田 京香（令和3年 法律学科卒）
国税専門官

橋本 康平（平成30年 国際政治学科卒）
佐賀県警

井上 諒亮（平成30年 法律学科卒）
門司税関

第11回（12／2）

左から 島崎 一真（平成29年 国際政治学科卒）
久留米市立久留米特別支援学校講師

古賀 久貴（平成29年 国際政治学科卒）
久留米市立久留米特別支援学校講師

藤田 卓（平成31年 国際政治学科卒）
総合メディカル株式会社

第12回（12／9）

左から 植野 直孝（平成18年 法律学科卒）
三好不動産

荒木 玲那（平成31年 国際政治学科卒）
大牟田商工会議所

三原 愛未（令和3年卒 法律学科）
熊本県警

第13回（12／16）

左から 古川 雄司（平成26年 国際政治学科卒）
久留米大学

木下 博和（平成7年 法律学科卒）
ソニー生命株式会社

第14回（1／6）

左から 植松 徹也（平成8年 法律学科卒）
久留米市役所

柴田 浩樹（平成29年 法律学科卒）
久留米市役所

幸野 憲道（平成6年 法律学科卒）
九州情報大学

第15回（1／13）

左から 原田 健伍（平成22年 法律学科卒）
愛知高速交通株式会社

迫田 翼（令和2年 法律学科卒）
シンコー薬品株式会社

川口 彩夏（平成23年卒）

絣フェスタ 2022

地域連携イベント「絣フェスタ2022～つなぐ～」

法学部主催の地域連携イベントとして、2022年に第８回目を迎えた絣フェスタ2022は、８月27日（土）に久留米シティプラザ・久留米座で開催されました。絣フェスタは学生実行委員会主体で企画・運営され、法学特殊講義という法学部の正規授業の中でメイキングが行われています。

履修している学生たちからテーマを募集し、選考の結果、2022年のテーマは「つなぐ」に決まりました。人と人をつなぐ、地域をつなぐ、産学官をつなぐ、などさまざまな思いが込められています。コロナ禍ではありましたが、感染防止対策では共催した看護学科の指導の下で万全を期し、入場制限なしで開催され、オンラインでもライブ配信されました。

絣フェスタ2022は久留米絣ファッションショーが二部構成となり、久留米絣協同組合とのコラボによる絣フェスタOB・OGによるファッションショー、学生によるファッションショーが披露されました。

各プロジェクト報告では、染料の藍草・藍の生産、オカモト商店との絣商品コラボに携わる藍プロジェクト、田主丸エリアの総合的支援を行うマートルプロジェクトなどの活動が紹介されました。

今年の目玉としては、アイドルをテーマにした絣藍ドル・あいくるが絣フェスタから誕生したことです。学園祭での出演や、久留米市のほとめきファンタジーで広報アンバサダーに正式に任命されるなど、活躍の場を広げています。

絣藍ドル・あいくるについて

毎年ファッションショーを行っていましたが、新規部門として地域アイドルをコンセプトにした活動に挑戦してみたらどうかいうことで、絣藍ドル・あいくるが絣フェスタから誕生しました。活動としては、絣フェスタでのプレゼンと披露、学園祭への出演、テレビでの告知、地元企業への訪問やPV動画の制作に加え、久留米市のほとめきファンタジーで広報アンバサダーに正式に任命されるなど、活躍の場を広げています。

絣藍ドル・あいくるとして活動している学生さんの感想

久留米絣を知ってもらうために、久留米市に住んでいる一員として、アイドルという形で携われていることがとても嬉しいです。

久留米絣と聞くと和服をイメージする人が多いと思いますが、絣にもこんな服もあるんだ！と久留米絣に興味を持っていただけるきっかけになればいいなと思っています。

法学部3年
水本 可椰子

第55回 あのく祭

令和4年度あのく祭を終えて

この激動の時代の中、学内外問わず、多くの皆様のご協力により、今年度はあのく祭が開催されたことを大変嬉しく思っています。

今年度のスローガンは『RESTART～新しい道を創る』でした。これは、コロナ禍で2年開催することができなかったあのく祭を我々がRESTARTし、後輩たちに続く新たな道を創るという意味合いが込められています。このコロナ禍で、我々大学生は「かわいそう」だと社会からは見られています。しかし、そんな目に負けず我々は今の学生生活を謳歌しています。多くの友人に恵まれ、たくさんの機会に触れ、毎日1歩ずつ成長をしています。そんな姿を皆様に見せられるようなあのく祭だったのではないかと考えています。

さて、今年度のあのく祭を通して、1つ改めて認識したことがあります。それは、人と人の「縁」というものの大切さです。私が大学1年生の頃は、月に1回のゼミのみ対面で、それ以外の授業は全てオンラインで行われていました。数多くの人と出会い、数え切れない程の思い出を作るんだと期待に胸弾ませた入学時に、すごく寂しい思いをしたことを今でも鮮明に覚えています。しかし、コロナ禍で人と人の関係性が希薄になってしまった中でも、これだけ多くの人の縁と想いが詰まったあのく祭が開催され、やはり人と人の縁は目に見えなくても多くのところに繋がっているものだと実感いたしました。今でも、このあのく祭を通して学んだことや経験も、そこで出会った友達も全てが私にとってかけがえのないものになりました。大学生活において、このあのく祭という素晴らしい行事に携われたこと、あのく祭に尽力していただいた全ての人を私は誇りに思います。

最後にはなりますが、あのく祭を開催するにあたり多大なるご支援・ご協力を頂きました関係者各位の皆様、並びに地域住民の皆様に謹んでお礼申し上げます。

あのく祭執行委員会委員長
青木 颯矢

同窓生インタビュー

マルカート
司法書士事務所

松嵜 正 さん（平成12年 法律学科卒）

Q 学生時代で最も印象に残っていることは？

A 随分と昔の話になるので、ぼんやりとした記憶ですが、大学時代の4年間は親元での生活から自分の力で生きていく転換期であり、学業はもちろん、サークルやアルバイト等を通して、「自己」というものを確立した期間でした。高校時代までの義務感に囚われることなく自由を獲得できる一方で、責任も伴うことも身をもって学んだ時期だったと思います。中でも、1年次よりお世話になった器楽部は、顧問の梅崎先生をはじめ、個性豊かな人々だらけでしたが、一体感もあり、その中の数人とは今でもお付き合いしています。

Q 現在のお仕事は？

A 勤務先　マルカート司法書士事務所
昨年、久留米市で独立開業しました。内容としては登記関係や企業法務が中心で、頻度としては少ないですが、裁判業務も行っています。一人で運営していますので他人に頼ることはなく、スケジュール管理が最重要課題です。本業のほかに、司法書士会の仕事（会務）もありますので、土日祝日にも予定が入ることが多く、自由なようで不自由なのがこの仕事の特徴です。

Q 現在の状況についてお聞かせください。

A 休日は専ら子供と遊びます。古き良き昭和時代の文化（ドリフやヒーローもの）を紹介したり、バスや電車に乗ったり、たまには仕事に連れて行ったりと様々な経験をさせるようにしています。趣味は筋トレ、カメラ、ピアノ、ゴルフなどですが、どれも中途半端です。

Q 法学部同窓生の皆さんへのひとこと

A 仕事柄、相続等の家族問題に触れることが多いです。段々と減少傾向にある若年層の負担軽減のためにも先延ばしにせず、今のうちに解決できる問題は解決した方がいいと思います。その際には我々専門職にご相談いただければ幸いです。

久留米大学福岡支部　総会及び懇親会

令和４年11月10日に福岡市中央区にある福岡東映ホテルで、久留米大学福岡支部の総会及び懇親会が開催されました。

福岡支部は、主に商経同窓会の先輩方により運営されていますが、私たち法学部の卒業生も役員等として積極的に参加しており、学部の垣根を越えた活動が一つの売りとなっています。

そうした福岡支部の総会の開催は２年に一回です。２年前の総会のときは、世間は正にコロナ禍にあり、懇親会の開催どころか、対面での総会の開催も危ぶまれました。しかしながら２年前は、支部長をはじめとした役員の大幅な刷新が予定されていたため、開催しないわけには行きません。感染対策を万全にした厳戒体制の中での総会の開催だったのをよく覚えています。

なので、今回は新支部長の元での新執行部による初めての総会でした。加えて、長いコロナ禍を経て、実に３年ぶりの懇親会の開催でした。

総会及び懇親会には、43名が参加しました。参加された方々も、これだけ多くの人が集まっての懇親会や飲み会は久しぶりだと口々におっしゃっていました。

総会は滞りなく進行し、総会も和やかな雰囲気の中で行われました。

福岡支部では総会以外にも、年に一回『夏の集い』を開催するのが慣例となっています。福岡近辺に在住もしくはお勤めの方は、是非一度ご参加ください。

折戸 謙介（平成７年卒）

大学近況

地域交流拠点「つながるめ」オープン

900号館全景：「つながるめ」のほか、模擬法廷も健在。

法学部を卒業された同窓生にはなじみが深かった旧法科大学院の施設である900号館の1階に、2022年4月より地域交流施設「つながるめ」がオープンしました。長らく、法科大学院の閉鎖後、活用されていませんでしたが、今般、本学の理念である「地域に貢献する実践的人材の育成」を見える化する取組みとして、地域連携の拠点と創設し、地域の多様な方々が学生・教職員とともに利用し、活気に満ちた施設として生まれ変わりました。

「つながるめ」とは、地域と「つながる」、久留米「るめ」、優れた人材の「芽(め)」が育つ場所の意をかけたもので、「つながるプレイス」「みんなのカフェ、シェアキッチン」「ウェルネススタジオ」の3つのブースがあり、多彩な行事が展開可能です。

2022年4月以降、すでに様々な取り組みが行われております。7月には大学近隣の9自治体(久留米市、筑後市、広川町、うきは市、小郡市、朝倉市、みやき町、大刀洗町、八女市)の担当職員との「つながるめミーティング」や学生と地域小学生の夏休み交流イベントである「子ども食堂」、11月には福岡県の服部知事をお招きし、市民、学生との交流イベント「知事といきいきトーク」や本と絵本のイベント「KURUME BOOK CAMPUS」の開催、毎月第2・第4火曜日には「親子ヨガ教室」も開催されております。

なお、この施設を利用して、地域、学生との交流ができるイベントを実施する場合は、以下にお問い合わせください。

久留米大学　御井学舎事務部地域連携センター事務室
〒839-8502 久留米市御井町1635
Phone：0942-43-4413　Fax：0942-43-4413

「つながるめ」オープンスペース： 900号館1階に開設。普段より、学生、地域住民が利用できる。食事も可能。

両キャンパスのグラウンド整備

同窓会報2021年号でもご紹介しておりましたが、御井キャンパスのグラウンドを水害の際の貯留施設とする工事が2023年度の完成を目指して進んでいます。現在、800号館側の半分が仮整備され、運用されており、御井アリーナ側は掘り下げ工事を実施中です(2022年12月現在)。

この事業は、久留米市と本学との間で締結された「御井キャンパス内貯留施設の整備に関する覚書」に基づき、久留米市内の豪雨による浸水被害を軽減する目的で、下弓削川・江川の上流に位置する本学御井キャンパス内に大規模な雨水の貯留施設を設置するもので、本学学生を含む久留米市民の安全・安心に寄与することを目的に官民連携で事業が進められているものです。

最終的には御井キャンパスのグラウンドが、その機能を維持しつつ貯留施設(25mプール約50個分相当、21,800トンの貯留池)として整備されます。

学生の皆さんには、工期期間中、代替地での練習などご不便をおかけしておりますが、来年の会報には人工芝のグラウンドがご報告できると思います。

ちなみに、医学部のある旭町キャンパスにおいても、人工芝グラウンドの整備が進められております。こちらは一足早く、2022年12月に安全祈願祭を実施し、翌2023年1月21日にオープニングセレモニーを開催、すでに使用可能となっております。

御井学舎グラウンド工事： 900号館からグラウンドを望む。2mほど掘り下げ、大雨の際は25mプール50杯分の雨水を貯留できる。

旭町総合グラウンド全景： 医学部B棟7階バイオ統計センターより許可を得て撮影

番外編

久留米近影
十三部交差点の改良実施、中環状道路が開通しました！

自家用車などで久留米市内を走ると、必ずと言ってよいほど、朝夕に渋滞する箇所があります。その1つであった十三部交差点が改良工事を行い、同時進行でゆめタウン久留米前(新合川2丁目交差点)から十三部交差点までのバイパス(中環状道路：合川町津福今町線)の整備が完了、令和5年3月18日(土)から通行できるようになっています。

長らく、「塩漬け土地」と揶揄されてきた道路用地も、20年の月日をかけ完工し、交通の分散など大いに期待されるところです。

十三部交差点：北方向に「ゆめタウン久留米」が見える。

林田 俊彦(平成4年卒)

就職状況

この春卒業の2023年3月卒業の法学部卒業生の就職内定状況は、ゴールデンウィーク明けに大学のホームページ等により公開いたしますが、大学の課外講座である資格取得講座対策等により、新たな分野の公務員専門職試験に挑み見事合格し進路決定する方もいるところです。今回の卒業生は、対面のみならずオンライン説明会や選考なども定着してきた中での就職活動となり、インターンシップ等を通じての早い時期から準備が出来た学生は2桁台の内定を得た学生もいれば、低学年時のオンライン授業の影響による友人などからの情報不足等により動きが遅れた学生など、その2極化がはっきり表れた年であったとも思います。

2023年3月法学部卒業生の主な就職先

- 出入国在留管理庁
- 大分地方検察庁
- 福岡県庁
- 大分県庁
- 福岡市役所
- 久留米市役所
- 別府市役所
- 小城市役所
- 広川町役場
- 独立行政法人 国立病院機構九州グループ
- 独立行政法人 地域医療機能推進機構
- 福岡県警察
- 佐賀県警察
- 熊本県警察
- 長崎県警察
- 大分県警察
- 山口県警察
- 警視庁
- 大阪府警
- 神奈川県警察
- 久留米広域消防本部
- 遠賀消防本部
- (株)筑邦銀行
- (株)宮崎銀行
- (株)熊本銀行
- (株)長崎銀行
- 大分県信用組合
- セキスイハイム九州(株)
- アイリスオーヤマ(株)
- 森永乳業九州(株)
- イオン九州(株)
- (株)翔薬
- 正晃(株)
- ANA沖縄空港(株)
- ハウステンボス(株)
- (株)にしけい
- ALSOK福岡(株)
- 福岡県農業協同組合中央会
- 日本年金機構

ほか

2024年3月卒 新4年生に対する就職支援

● 就職合宿

令和5年2月13日～17日に就職合宿を開催しました。この就職合宿は、3年生の就職支援行事の「総まとめ」として平成11年度から大型ホテルを会場として毎年開催してきました。令和2年度からはコロナ禍によりやむを得ず学内を会場として2日間の日帰り合宿として開催していますが、実際に企業の採用担当者による模擬面接等なども行われ、今回の目玉企画として企業採用担当者による本音(マル秘)トークの時間も設けられました。

マナー講座

グループディスカッション

採用担当者とのホンネ交流会

● 学内合同企業説明会(令和5年3月4日開催)

就職広報活動解禁に合わせ、3月4日(土)に本学のみいアリーナ(体育館)を会場として120企業の採用担当者をお呼びして合同企業説明会を開催し、375名の学生が参加しました。他大学では開催中止やオンライン開催へ変更もありましたが、本学では対面に拘って開催し続けています。今回も参加した学生や採用担当者から、対面での開催に対して感謝の言葉をいただきました。

● その他

各種相談、履歴書・ES添削、模擬面接(対面及びWEB)など随時対応しています。

就職・キャリア支援課長　山本 弘幸

新時代を拓く久留米大学募金

皆さまから賜りましたご支援によって、多くの学生支援を行いました。その支援の一部を紹介します。皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。引き続き、本学への温かいご支援・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

[使途１] 奨学金制度の充実

特待生・優等生に選ばれた学生の支援

[使途３] 国際交流の推進

オンラインライブ授業用Webカメラを購入

[使途４] スポーツ・文化活動の支援

アメリカンフットボール部：チームＴシャツを購入

[使途５] 地域貢献の推進

地域貢献活動への支援（法学部：絣フェスタ等）

一定額以上ご寄付いただいた方々に寄付者特典カードを進呈させていただいております。本学と提携する久留米・筑後地区や福岡県の各店舗でさまざまなサービスが受けられます！
また、寄付者特典提携企業を募集しています。同窓生の皆さま及びお知り合いの方が経営されているお店を是非ご紹介ください。

詳しくは
こちらから！ ▶

寄付特典は
こちらから

募金は
こちらから

LINEは
こちらから

Instagramは
こちらから

■ 募金に関するお問い合わせは、以下へお願いいたします。
久留米大学 総合企画部 総合企画課
〒830-0011 福岡県久留米市旭町67番地 TEL 0942-31-7530

設立35周年記念講演会

1987年に設立された久留米大学法学部は、2022年に35周年を迎えました。この度、久留米大学法学部設立35周年を記念して、10月13日に、82B教室で、記念講演会を開催しました。本学学生、教職員、同窓会・地域の方々などが、多数参加し盛会となりました。法学部同窓会には後援をいただき、心から感謝申し上げます。

今回の講演者は、元名古屋高等検察庁検事長で、現在弁護士として多方面で活躍している青沼隆之先生です。検事として要職を経験なさった方から、実体験に基づいたお話を伺う機会は、滅多に得られるものではありませんが、久留米大学附設高校出身のご縁で貴重な機会を賜ることができました。先生は、国際機関で働いたり、法務行政で働いたり、多方面で要職を経験されており、豊かな経験がもたらす広いご見識と人格的な魅力に終始魅せられました。

講演は、「検事は人情　―検事長回顧録―～中日新聞連載コラム「轍(わだち)」より～」という題でした。「秋霜烈日」と言われ、厳しい印象が強い検事の仕事が、いかに人情とかかわりが深いかが、いくつかのエピソードの中で、とてもわかりやすく語られました。容疑者に検事として人として真摯に向き合い、果敢に挑む姿勢が、深い感動とともに、人を裁く法曹の仕事の奥深さや重みを感じさせてくれました。法は結局人なのだということを、実感でき、法学部設立35周年を記念するにふさわしい講演会となりました。

講演会の内容は、久留米大学法学87号に少し要約されて掲載される予定です。是非一度ご覧いただき、社会で経験を積みご活躍されている同窓生の皆様に、法とは何かをもう一度考えていただく機会となるとありがたく存じます。

久留米大学法学
インデックスリスト

上村 一則(法学部教授)

卒業生の抱負

法律学科卒 4年
末安 駿平

４年前、不安と期待を胸に久留米大学に入学し、高校生とは違い、すべて自主的に行動しなければならないという大人な扱いに、はじめは戸惑いました。大学入学時に、何事にも挑戦すると目標を決め、チューター活動やサークル創設を行い、そこでの出会いや経験により不安がなくなり、期待通りの４年間を過ごすことができました。また、４年間を通して大きく成長することができました。

特に、チューター活動は印象的でした。先輩には、コミュニケーションや組織で行動する際に、報連相がいかに大切であるかを教えて頂きました。この学びは、大学以外の場でも生き、人間関係の構築や問題解決に役立ちました。

また、後輩には、コロナ禍ということもあり、当初の予定通りに活動ができない中で、私が学んだことをどのように伝えるか、どのように指導していくかなど、人に教える難しさを痛感しました。これを乗り越えるために、人や環境に気を配り、場の状況を把握することの大切さを学びました。これらのチューター活動での経験により、就職活動の面接で、面接官との会話や自己紹介などを相手に分かりやすく伝えることができました。

また、４年間担任をしていただいた在澤先生には、文章の書き方から勉学・就職活動など、沢山の相談に乗って頂き、とても感謝しています。特に、進路に関するアドバイスのおかげで、自分自身が何をしたいのかを見つめ直す事ができ、就職活動を円滑に終えることができました。

卒業後、社会人となり色々な困難に直面すると思いますが、大学入学時に掲げた挑戦するという目標を継続し、乗り越え、成長し続けることを新たな目標としていきます。また、４年間の大学生活での成長を活かし、社会人になっても気づきや学びを大切に、色々な経験を吸収して、社会や会社に貢献する人間になりたいです。

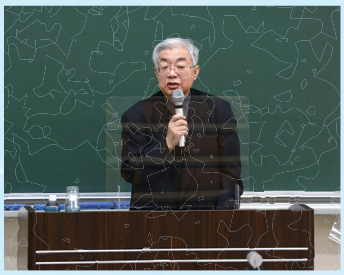
2023年1月21日に朝見先生の最終講義が行われました！

2008年から15年間にわたって、久留米大学法科大学院そして法学部で教育・研究にご尽力いただいた朝見先生が、2023年3月をもって、定年でご退職となりました。先生の長い研究・実践の活動をご披露いただく機会として、1月21日（土）に御井本館11A教室で「消費者法の展開と法教育のあり方」というテーマで最終講義を行っていただきました。

朝見先生は、2011年10月に弁護士登録をなされ、まさに消費者救済のための実践活動も行われ、「NPO法人消費者支援機構福岡」でも要職に就かれています。ご存知の方も多いとは思いますが、「令和3（2021）年度消費者支援功労者内閣総理大臣表彰」を受けておられます。このような消費者支援への尽力の一端を教育という形で学生たちに伝えてこられました。先生の研究・実践という二刀流の活動の基礎は、研究者生活の出発点にある実務を知り、現場を見るという研究スタイルにも遡るということを熱く語っていただきました。

まだまだ、コロナ禍の規制が残っているときでしたが、法科大学院の修了生も駆けつけ、先生のお話に耳を傾けていました。私たち法学部の教員に対しても、学生への法学教育のあり方を考えなければならないという宿題を残されました。

2時間弱の短い時間でしたが、大変有意義な時間となりました。



吉弘 光男（法学部長）

同窓会事務局より

住所変更について

同窓生の皆様で、現住所の変更がありましたら、同窓会事務局までご一報いただくか、右記のQRコードよりお知らせください。また、住所変更を依頼したのに実家に会報が届いている、改姓を依頼したのに旧姓のままになっているなど、変更が反映されていない方がいらっしゃいましたら、再度ご変更のご連絡いただけないでしょうか。ホームページ、お電話などでも受け付けております。近況報告だけでも投函できますので、是非お知らせください。

同窓会会報への投稿について

近況報告やゼミ会、または職場の取材をして欲しい、会報に広告を掲載したいetc.会報への投稿をお待ちしています。その他、お問い合わせなどありましたら下記連絡先までお気軽にお知らせください。

法学部同窓会役員の募集

同窓会では、役員になって一緒に活動をしてくださる同窓生の方を募集しています。興味がある方は下記連絡先までお知らせください。

支部会・同期会の立ち上げ支援について

同窓会では支部会や同期会の立ち上げの支援を行っています。支部会、同期会の立ち上げを考えの方がいらっしゃいましたら下記連絡先までお知らせください。

編集後記

WBC決勝戦優勝で日本中が大興奮のなか、今年も、皆さまのお手元に会報を届けることができました。「絣フェスタ」に加え、3年ぶりに開催された「あのく祭」によって誌面も更に華やかな内容になったかと思います。今後も、学生時代を懐かしめるような会報作成に努めてまいります。

最後になりましたが、快く取材頂きました方々、発行に際しご尽力頂きました関係者の皆さまありがとうございました。心より感謝申し上げます。

広報部長：川口 彩夏

連絡先

久留米大学法学部同窓会事務局

TEL・FAX　0942（43）5164

E-mail　krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp

発行所　久留米大学法学部同窓会
〒839-8502 久留米市御井町1635
TEL ／ FAX　0942(43)5164
URL　：https://kurume-hougakubu-dousoukai.jp/
E-mail：krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp
発行人　平 誠一
発行日　令和５年５月８日
印刷所　株式会社 久大エンタープライズ